



企画名称	地域社会における安全・安心まちづくりへの参加と提言
団体の名称	守山ゼミ3・4年連合
代表者氏名	中山 裕介
学部学科名等	政経学部法律政治学科 3年

実施期間・日程

平成22年7月23日～平成22年12月15日

7月23日	東京都青少年・治安対策本部安全・安心まちづくり課と協議
9月27日	杉並区危機管理室と協議
9月29日	杉並区内を巡回、下見
10月4日～12日	杉並区青パトに同乗して地域防犯パトロール実施、杉並区内の危険箇所を現地で確認、データ収集
10月14日～17日	大学祭において準備・展示・解説
11月8日	豊島区危機管理課と協議
11月16日～12月14日	豊島区内を自転車によりパトロール
11月29日～12月3日	豊島区内の危険箇所を現地で確認、データ収集
12月1日～12月15日	危険マップの作成
12月15日	東京都青少年・治安対策本部安全・安心まちづくり課と反省会

実施内容

東京都区内における調査・活動場所を設定するため、東京都青少年治安対策本部安全・安心まちづくり課と協議し、杉並区と豊島区が行っている防犯パトロールに協力することにした。

- ①杉並区危機管理室が実施している青パトに同乗し、地域のパトロールを実施するために、現地の現職警察官より犯罪の状況などの説明を受けた。また、独自に杉並区内を巡回し、GPS付きカメラ等を用いて、危険箇所についてデータ収集を行った。
- ②豊島区危機管理課が実施している「夕焼けこやけ隊」に参加し、夜間の自転車によるパトロールを区役所職員とともに実施した。また、独自に区内の危険箇所をチェックするために、巡回し、カメラで撮影し、データを収集した。
- ③これらのデータや記録と地図ソフトと連動させ、危険マップを作成し、犯罪状況を分析した。
- ④最後に、東京都青少年治安対策本部安全・安心まちづくり課と反省会を行い、活動の在り方を協議した。

成果

1. 杉並区の活動

杉並区が午前、午後に常時実施している青パトに同乗し、住宅の防犯診断、ひったくり防止ネットの配布、侵入盗被害防止の呼びかけ、電柱の無許可掲示物の引きはがしを行った。環境犯罪学の理念に基づき、高い塀や植え込みは逆に窃盗被害に合いやすく、絶えず人の自然な監視の目を光らせることが犯罪予防に重要であることが理解でき、また、ひったくり・痴漢などの路上犯罪が特定地点（危険箇所）に集中していることがわかった。青パトの職員は元警察官であり、種々の指摘を受け、これらの情報を元に独自に区内の危険箇所を調査したが、この地区の主要な関心は住宅侵入盗であり、路上犯罪については必ずしも関心が高くはなかった。
2. 豊島区の活動

豊島区は「夕焼けこやけ隊」と称して、毎週火曜日の夕方職員が交代で、自転車によるパトロールを行っており、われわれも自転車に乗って路上犯罪の多発場所（危険箇所）を重点的に巡回した。この地区は、典型的な巨大繁華街があり、住宅被害よりも路上犯罪に関心が高いが、住宅侵入盗被害が夕方に集中している点から、夕方のパトロールが行われている。
3. 総合

地域の防犯活動は日常的な活動が重要であり、また地域の住民が互いにコミュニケーションを行い、地域の連携こそが犯罪予防に役立つことが理解できた。このため、各自治体ではさまざまな活動を行っているが、住民は危険箇所をあまり知らない状況にあり、広報活動をさらに行う必要があると思われる。

反省点・感想及び意見、今後の計画

各自治体は、地域の防犯パトロールに力を入れており、日常活動の重要性を痛感したが、現場では、自治体職員とパトロール担当者（元警察官が多数）の間に意識や意欲の差があり、型通りの活動もしばしば見られた。しかし、短期間ではあったが、今回の活動でゼミの警察官・公務員志望者にとっては、警察や自治体の仕事の一部を垣間見ることができ、また職員の人たちと友好的に話すことができ、いわばインターンのような効果があったと思われる。但し、われわれが当初目的とした地域の危険マップ作成では、とくに杉並区は役所の消極的な態度や住民のプライバシー意識によって十分な情報が得られず、個人情報という壁に直面した一方、豊島区ではある程度実現できた。防犯活動は継続性が重要であるため、今後、後輩のゼミ生とも連携して、ゼミ活動の一環として続けていくのが望ましいと思われる。

支出報告書

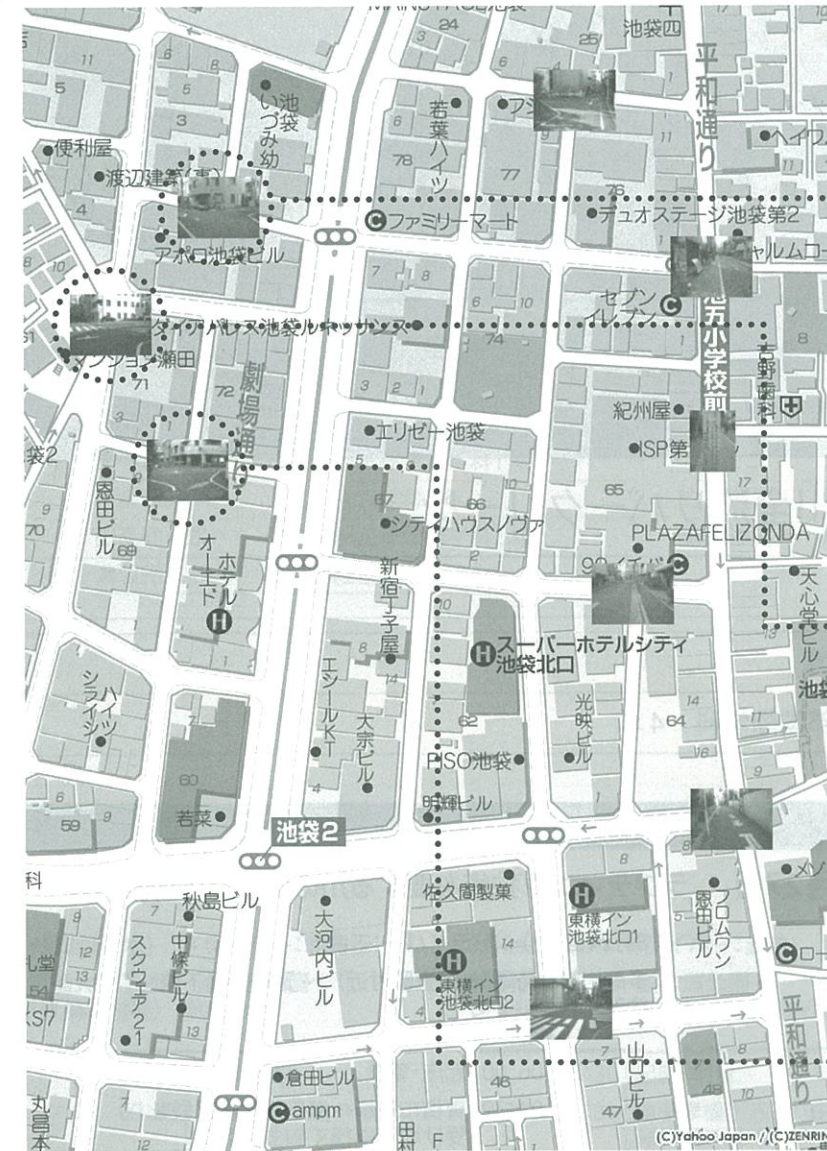
支出総額	153,155円
給付額	150,000円

【内訳】

品名	単価	個数	小計
<物品費>			
GPSデジタル・カメラ (Sony DSC-HX5V)			¥ 29,700
<図書資料費>			
地図ソフト (Super MappleDidital)			¥ 16,460
地図ソフト (プロアトラスSV6)			¥ 1,575
東京都地図			
<交通費>			
茗荷谷ー南阿佐谷往復 (JR・東京メトロ)	¥ 1,060	46人 (延べ人数)	¥ 48,760
茗荷谷ー拓大八王子往復 (東京メトロ・JR・バス)	¥ 2,440	16人 (延べ人数)	¥ 39,040
茗荷谷ー池袋往復 (東京メトロ)	¥ 320	41人 (延べ人数)	¥ 13,120
<その他>			
ボランティア保険			¥ 4,500
			合計 ¥ 153,155

危険マップ (池袋2丁目付近の分析と考察)

※池袋2丁目付近のマップで、劇場通りより西側の写真3枚を選びました。上から順に3-1、3-2、3-3の順になっています。



3-1 劇場通り(大通り)から1つ路地に入ったところにある三叉路。街灯が大通りに比べ少なく、昼間でも人通りがまばらで結果的に死角が多くなる。次の路地まで数十メートルしか間隔がないため、逃走が容易。



3-2 中規模の通りが南北に通っており、一方通行の路地3つが合流する五叉路。付近にはコインパーキングがあり、ひたたくり被害と同時に、車上荒らしの事例もある。昼間は付近にオフィスビルがあるため一定の人通りがあるが、夜間は人通りが少ない。五叉路という特殊な地形のため、逃走経路がもっとも多い。



3-3 劇場通り(大通り)西側の3地点の中で、もっとも繁華街に近い。周辺はオフィスビルやマンション、ホテルなどがあり、2つの細い路地が交わる十字路である。繁華街に明るさとは対照的に、昼間でも薄暗い印象がある。写真のように両脇から樹木が張り出しており、死角が多い。

《考察》

区役所の職員の方がおっしゃっていた言葉が、「細い路地が交わるような、いわゆる路地裏の交差点で、かつ一方通行のような箇所は、路上犯罪が発生しやすい。」であった。実際に私たちが、路上犯罪発生箇所に行ってみると、その多くが路地裏の交差点であった。また、携帯型オーディオの普及で、歩行中もイヤホンやヘッドホンをしている人が増えているため、犯人の接近に気づけないという事情も、この箇所を始め、全国的に路上犯罪が多発する一因になっているのではないだろうか。